目次

2.2 緒言 2

図目次

図 2.2-1 セトメラノチド酢酸塩の構造式 2

2.2 緒言

名称

医薬品国際一般名称（INN）：setmelanotide（企業コード：RM-493）

日本医薬品一般的名称（JAN）：セトメラノチド酢酸塩

有効成分

セトメラノチド注射剤（本剤）の有効成分であるセトメラノチドは、メラノコルチン 4 型受容体（MC4R）アゴニストとして機能する 8 個のアミノ酸残基で構成される合成環状ペプチドである。

薬効分類

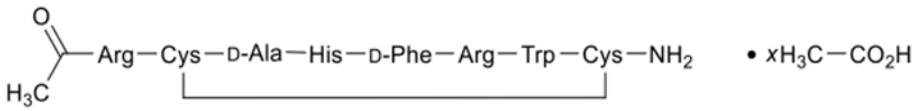
本剤は、メラノコルチン 4 受容体関連障害治療薬である。

薬効分類番号 249：その他のホルモン剤

構造式

セトメラノチド酢酸塩の構造式を図 2.2-1 に示す。

図 2.2-1 セトメラノチド酢酸塩の構造式



製剤処方

本剤は、1 mL 中にセトメラノチド酢酸塩 13.3 mg（セトメラノチドとして 10.0 mg）を含有する無菌注射剤である。製剤は透明なガラス製バイアルに充填される。

投与方法

本剤は、1 日 1 回皮下投与する。

作用機序

本剤は、MC4R 経路の上流の異常による α-メラノサイト刺激ホルモン（MSH）産生の喪失を補完するとともに視床下部内の MC4R ニューロンを直接活性化することにより、MC4R 経路内で喪失したシグナル伝達活性を回復させる。MC4R はエネルギー恒常性の中心的な調節因子であり、MC4R アゴニストである本剤は食物の摂取量を減少させ、かつエネルギーの消費量を増加させ、エネルギーを貯蔵せずに消費するよう変化させることで体重を減少させる。

予定される効能・効果

本邦における本剤の効能・効果は、以下のとおりとする。

後天性視床下部性肥満